

慢性損傷における皮膚・排泄ケア認定看護師の組織横断的活動のアウトカムの実態

1. 研究の背景

慢性創傷とは、正常な治癒過程が得られない創傷のことで、褥瘡、糖尿病性下肢潰瘍（DFU）、静脈性下肢潰瘍（VLU）、手術部位感染離開創（SSI）などの創傷が含まれる。慢性創傷は創傷が深く浸出液が多量に排泄され、重篤な感染創傷に陥る可能性があり、創傷の状態に応じたタイムリーな治療が必要である。更に、慢性疾患が基盤にあることがあり、一度治癒しても、再発しやすいため、長期的に継続したフォロー体制が重要である。しかし、専門医が少ないため、適切な対応を受けずに重篤化している現状がある。この現状を改善するために、皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCN）の活用が有効であると考えられる。研究者が実施した、WOCNのタイムスタディでは、DFU、SSIの介入件数が多いが、介入の成果は明らかにされていない。

2. 研究の目的

WOCNが慢性創傷でどのようなアウトカムを示しているのかを明らかにする。

3. 研究の詳細

(1) 研究方法

調査開始から最長4週間までに、週に1回または外来受診時に介入内容、創傷の局所状態、患者立脚評価指標、疼痛の程度などのデータを収集。

主要アウトカムは、創傷の治癒期間、創面積の縮小率、患者満足度、QOL、処置時の疼痛増加率とする。副次的アウトカムは、創面の肉芽色、壊死組織の量、入院期間の短縮とする。

(2) 倫理的配慮

ヘルシンキ宣言に則り研究実施に係るデータ類を取り扱う際には、被検者の個人情報保護に十分配慮する。研究結果を公表する際は、被検者個人を特定できるデータを含めないようにする。研究データは研究実施者が厳重に管理し、研究終了をもって破棄する。

3. 目標症例数と研究期間

目標症例数：3症例（当院）3000症例（研究全体）

研究機関： 2015年12月1日～2016年3月31日（当院）

2015年9月1日～2019年3月31日（研究全体）

4. 研究責任者連絡先

研究責任者：皮膚・排泄ケア認定看護師 山下 美樹

TEL 076-525-2200（内線1350）